まちを想う、仲間とつなぐ

ゆめこらぼ通信

第51号

平成29年10月1日発行

発行:西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ　〒188-0012　東京都西東京市南町5-6-18 イングビル1階

NPO団体など市民と市職員が集まり意見交換

協働のまちづくりワークショップ「協働のきほんのき！を学ぶ」

平成29年7月25日(火曜日)　午後1時30分～午後4時30分 西東京市役所防災センター6階講座室にて

参加者：市民30人（NPO法人･市民活動団体16人、企業5人、地域コミュニティ9人）、市職員28人

NPO、企業、地域コミュニティなど多様な市民と市職員が一堂に参加して行われた今年の協働のまちづくりワークショップ。立場の違う者同士による「協働」について基本から学んだワークショップになりました。

今年で3回目となる協働のまちづくりワークショップは、NPO法人れんげ舎代表理事・長田英史氏による講演「協働のきほんのき！を学ぶ」をワークショップを交えながら行いました。

講師　NPO法人れんげ舎代表理事　長田英史氏
年間 80 回以上の講演をこなす人気講師

西東京市の協働の考え方、行政とNPO法人・市民活動団体（以下NPO等）の意思決定の方法、お金や人員のとらえ方、行政は命令系統があるがNPO等は合議制で動くなどを噛み砕いて説明していただき違いを共有することが出来ました。

アンケートでは「普段話さない人と話すことができた」「漠然としたイメージしかなかった協働がわかった」「協働をする際に感じていたやりづらさの原因がわかり、有益だった」など、もやもやしていた部分が晴れた方が多かったようです。

認知された地域課題に取り組む行政と、潜在的な地域課題に取り組んでいるNPO等。建前レベルの協働を本音レベルの協働に移行するために相手に求めることは何か、自分たちにできることは何か、互いに補完しあって、地域課題に向き合い続けるには何が大切か。お互いに足りない部分があり、それぞれに「組織の課題」があることも指摘されました。NPOも行政も、まずは足元を固めつつ活動を続けて行くことが大切であると、全員で確認出来たワークショップとなりました。

※「協働のまちづくりワークショップ」は、協働の推進・基盤づくりに向けて、市民活動団体、行政、企業等の参加者がともに学びあい協働のきっかけに繋がることを目的として平成27年から開催しています。

◆◆登録団体活動紹介◆◆

講師：渡辺 伸氏
・「親なきあと」相談室主宰
・行政書士
講師の著書
障害のある子が「親なきあと」にお金で困らない本
出版社：主婦の友社

田無手をつなぐ親の会
講演会　障がいある子の家族が「親なきあと」
～「親あるあいだ」の準備～

田無手をつなぐ親の会は 50 周年を迎え、西東京市南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」多目的ホールで講師に渡部伸さんを招いて 7 月 12 日(水)講演会を開催しました。講師の渡部さんは「親なきあと」相談室を開設し、障害がある子を持つ親のために自分たちがいなくなったあと、今ある法制度をうまく組み合わせることで、子どもが少しでも安心して暮らせるようアドバイスしています。講演でも障害年金、生活費、医療支援、遺言、信託制度、成年後見制度など説明し、「親なきあと」に対処するため必要となる様々な情報を網羅して丁寧に説明していただきました。

親が社会との接点(子どもの事を話せる相手)を持っておくことにより、なんとかなりますという言葉が印象深いものでした。

司会：小矢野 和子氏
田無手をつなぐ親の会会長

地域サロン　ぷらっと

主宰者の多様な活動も伺いました。

だれでもお気軽に「ぷらっと」立ち寄れるあなたの居場所！

地域サロン「ぷらっと」は今年 11 月で丸 11 年を迎える、だれでも気軽に「ぷらっと」立ち寄り、年金や医療、介護、終活などのミニ講座やフォークソングなどを楽しめる“あなたの居場所”です。

主宰は社会保障を研究している川村匡由で、原則毎週土日 14 時～16 時、参加費 500 円（茶菓代込み）でミニ講座などを開いています。部屋貸しもしています。

ただし、8～9 月はお休みで、新幹線軽井沢駅集合・解散で高原散策や温泉めぐりの「夏季・軽井沢サロン」となります。

なお、このほか、毎月第 4 月曜 13：30～16：00、武蔵野徳洲会病院（西東京市向台町 3-5-18）で「おおぞらカフェ」（100 円）、また、毎月 1 回、併設の福祉デザイン研究所の月例研究会なども開催しています。

このほか、NPO ニホン・アクティブライフ・クラブ（ナルク）と共催で、10 月 29 日（日）13 時 30 分～16 時、西東京市向台町 2-16-22、ハートフル田無（老人保健施設）で「わくわくカフェ」パートⅡを開き、西東京市や武蔵野市で時間預託のボランティアの仲間を集める対話集会を開きますので、こちらにもぜひご参加下さい。お待ちしております。

アクセス
武蔵野市境 3-12-10、ソフィー武蔵野 101
ひばりヶ丘、または田無駅から「武蔵境行き」西武バスで「武蔵境自動車教習所入口」下車、徒歩 0 分。
中央線利用の場合、武蔵境駅北口から徒歩 5 分

（主宰・川村匡由氏記）

地域活動団体の広報ツールとして重要なホームページ。

ホームページの作成、運営と広報の展開を考える

ホームページ拝見シリーズ

今回はいくつかの地域活動団体のホームページ（以下、HP）を立ち上げ、孤軍奮闘している青山 恭彦さんに HP を作るに至った経緯、運用方法や広報の考え方をインタビューしました。

☆ホームページ（HP）を作っている団体は？

「仙人の家」（東伏見にある、夫婦二人で居場所づくりをしている団体）と、「田無手をつなぐ親の会」（障がい者の親の連絡会）、あとは「ほにほに」（保谷第二小学校区の「ふれあいのまちづくり住民懇談会」）など。以前は同時に６つも抱えていたことがありましたが、団体がなくなったりなどして減りました。

６年ほど前の「**仙人の家」が最初**です。先に誰かが HP と Facebook を立ち上げたのに、更新せずそれっきり放置。それを聞いて「ほったらかしたままにするな」と腹立たしくなった。ご夫妻の要望もあって、HP を私が作り直し、FB も含めて更新を請け負うことになった。たまたま Jimdo というフリーソフトを知り、遊び半分でまず自分の HP を立てて面白くなったのが HP づくりやお手伝いをするきっかけです。私の「小さな親切」運動。

☆どういう内容で更新しているのですか。

「仙人の家」は、毎月たくさんの行事や企画があるので、その予定情報の発信。「田無手をつなぐ親の会」は障がい児をもって不安を抱える親御さんたちに安心と希望をもってもらえるよう会の活動内容を紹介。「ほにほに」は、立ち上げの動機は世話人を増やすための PR で、そのため、世話人の皆さんが活動している現場を撮って記事にします。児童の通学時見守りや、お祭りの時、世話人のおばちゃんたちが輪投げや射的のお手伝いをしているところなどを写真に撮って紹介。どの団体でも活動を続けるためには、活動内容を広く紹介して関心を持ってもらい、参加者、協働者、応援者を増やすことが必要でしょう。そのためには HP は広告宣伝に有用なツールの一つだと思う。

☆HP を作りたいけどお金がかけられないという団体からの声がありますが・・・

私が使っている Jimdo はホームページ作成のための無料のソフトなので、私が負担するのは時間と電話やファックスなどの通信費だけ。丁寧に作ろうと思えば時間がかかる。その上、写真を撮りに出かけなくてはならないし。HP 更新のお手伝いは余程お人好しじゃないとできないと思う。当初は、マニュアルを作ってあげて、立ち上げて、更新の作業手順を教えたら、後はできる人が出て来てやるだろうと思ったのは私の大誤算。そういう人はいない。できる人がいるところは私の手助けは必要ないのです。

☆次の世代にどうやって繋いでいくかという問題がありますね。

私がいまお手伝いしているところに、私の後、HP の維持・更新を無償で引き受けてやろうという人が現れるかどうか。IT 知識に詳しい人がたくさんいる時代、リタイア後のお遊びの一つとしてやってやろうという人材は多い筈。ただ、活動内容との親和性が問題。「ほにほに」の HP は私がいなくなったらどうなるだろう。気になります。

活動団体は親の会のように後継者に引き継がれて継続的に活動を続ける団体もあれば、代表一代限りで消滅して新たに同じような団体が別の人によって作られて行く団体もあります。団体によっては活動を活発化させるために、広告宣伝の必要性を感じることでしょう。広報の手段はクチコミやチラシからネット利用まで多様な手段があるけれど、活動内容によってどんな方法がベターか、目的によって広報の仕方が変わります。HP も一つの手段。参加者が欲しい、増やしたい。新しい人を巻き込みたいなどなど、「必要だから HP を立てよう」となっていかないと。広報の目的と必要を感じないと手段は考え着かないと思う。

70 歳台近くなって Jimdo というソフトを知り、それを活用しようとする姿勢こそ青山さんが皆から引っ張りだこになる理由です。「素人」だということを強調する青山さんですが、今回はそんな青山さんだからこそ感じる広報のあり方を聞きました。これからは多くの人が IT と共に生きる時代です。まさに「必要性を感じる」ならば、Facebook だけ始めてみる、ブログだけやってみるなど、まず一歩踏み出してみて、継続することが大切なのではないでしょうか

まちづくり円卓会議　報告
部活「地域デビューわっはっは！」

地域の課題解決について行政、市民団体や会社、教育機関など様々な立場の主体者が話し合うまちづくり円卓会議。今年度は、昨年度から引き続き「70 歳代からの地域デビュー」をテーマに、柳沢公民館と連携・共催で 3 回実施しました。多様な意見を反映した話し合いを重ね、地域デビューには、情報提供の工夫や、参加のハードルが低いことがポイントとなることも明確になりました。このまちづくり円卓会議での話し合いは公民館講座が引き継ぎ、11 月から 3 月まで 10 回連続講座として「地域デビュー」のきっかけを支援する人づくり・場づくりの講座がスタートします。新たな地域活動の担い手づくりへと繋がるきっかけをスタートさせることができました。

NPO 市民フェスティバル
参加申し込み締め切りは 10 月 20 日(金)まで！

市民活動を多くの市民へ紹介する絶好の機会、NPO 市民フェスティバルを今年も開催します。平成 30 年 1 月 20 日(土)、21 日(日)アスタセンターコートで開催を予定しています。**申し込み締め切りは 10 月 20 日（金）です。**説明会に参加できなかった団体の方・申込書を受け取っていない方は、ゆめこらぼへお問い合わせください。

昨年のステージ発表の様子

新たな登録団体＜7 月～8 月＞

◆猫の手舎

手作り絵本やイラスト、その他、手芸作品などの創作の場としてギャラリースペースを提供し、生活を明るく楽しいものにし、そしてギャラリーにいる猫達を可愛がり、愛情を持ち、小動物を愛することが世界平和に通ずることを自覚していることを目的とします。

◆特定非営利活動法人ミモザ

地域で暮らす障害者の皆さんをサポートし、できるかぎり本人の力で幸せに暮らすことを実現する為に活動しています。

◆まちづくりを考える西東京市民の会

まちづくりに関する諸活動を行います。

＜平成 29 年 8 月末現在で 165 団体になりました。＞

まちめぐり
参加者募集

向台町・新町周辺の市民活動の拠点を、楽しく語らいながら見学しませんか（ノルディックウォーキング講習付）。

10 月 21 日（土）午前 9 時 30 分～午後 2 時

定員 20 人（申込順）昼食代 200 円

10 月 14 日(土)までに、電話・ファックス・E メールで、①住所　②氏名（ふりがな）　③電話番号を明記し、市民協働推進センターゆめこらぼ「まちめぐり」係へ

※カメラボランティアを同時募集

まちめぐりに同行し写真撮影をしませんか。写真は HP・ゆめこらぼ通信で公開します。

西東京市　市民協働推進センター　ゆめこらぼ

ゆめこらぼ
モバイルページ

〒188-0012
西東京市南町 5-6-18 イングビル 1 階
Tel:042-497-6950 Fax:042-497-6951
E-mail:yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
https://www.yumecollabo.jp/
Facebook も更新中！

開館時間　午前 10 時~午後 7 時
休館日　毎週日曜日